

祝 新成人!



山辺中学校卒 成人式参加の皆さん

館報
いりやま

平成27年1月1日 現在	
世帯数	895戸
男	1,033人
女	1,113人
総人口	2,146人

1月11日に松本市総合体育館で成人式が行われました。

入山辺地区では、22名(男性12名、女性10名・住民登録上)が新成人となりました。

今回、2名の方に成人式を迎えるの感想や抱負をお聞きしました。

成人式を迎えて

百瀬 新

成人式を迎えるに当たっての感想と抱負を書かせていただきます。

まず成人式を迎えるの感想ですが、長かったようであつという間だったという感想が一番です。私生活や学校、職場でいろいろな事がありました。どれも記憶に新しい事ばかりです。

そして成人式を迎えるの抱負ですが、私は高校を卒業して働き始めましたが、これから成人式を迎え、本



当の意味で社会人の仲間入りができると思います。なので、これからはより一層気を引き締め、社会人として知識を身につけていきたいと思えます。

また、入山辺は松本市の中でも特に高齢者が多く、若い人が少ない地域でもあります。この入山辺をより快適に住みやすくするためには、若い人の力が必要になってきます。

地域の発展は市の発展に、市の発展は地域の発展につながっていくと思いますので、まず自分ができることを探して取り組む事を目標にして、頑張っていきたいと思えます。

成人式を迎えて

大輪 香苗

この度、無事成人式を迎えることができました。

私は高校を卒業後大学へと進学しました。今は県外で一人暮らしをしています。高校で大学受験を控えているときは、県内の大学に進むか、県外へ出るのかと言う事をとても悩みました。そんな時にいつも相談に乗ってくれたのは母でした。今では県外に出て自分が勉強してみたい学部のある大学に通っ

ています。県外の大学に出て一人暮らしを経験してみることが多くあることや、親のありがたみなどが良くわかりました。大学に進んだことで、新しく挑戦できることもあり、また、学んだことも沢山あります。

今まで支えてくれたお父さん、お母さんありがとうございました。いよいよ私も大人の仲間入りです。まだまだ頼りない私ですが、これからは少しでも恩返しができるよう頑張りたいと思います。



第十六期松本市入山辺里山辺財産区議会議員決定

昨年11月6日より、松本市入山辺里山辺財産区議員に新しい方々が選任されました。

入山辺地区の議員は次のとおりです。

財産区議会議員

- 宮坂 武彦【橋倉】
百瀬 英昭【南方】
大澤 徳次【西桐原】
中澤 忠克【東桐原】
百瀬 久弘【舟付】
丸山 守明【寺所】
加納 和夫【千手】
柳澤 喜三【三反田】
大輪 健一【上手町】
中野 義郎【厩所】
石川 清【一の海】
大澤 一男【大和合】
管理運営委員
大輪 邦彦【上手町】
市川 桂司【厩所】
(順不同 敬称略)

いあいせつ

入山辺里山辺財産区議会議長
入山辺記念林協議会長



大澤 徳次

新年明けましておめでとうございます。この度第16期の入里財産区の議長に選出されましたが、もとよりその

器では無いことは、私自身が一番知っているつもりでおります。自分自身の立ち位置をしっかりと見据えて働いてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、皆様からご心配をいただいております「ふるさとの森・美ヶ原」の案件が、15期の皆様の大変なご努力により100件中98件(平成26年12月26日現在)が、今の森林の現状をご理解の上合意解約に至ったことは本当に良かったと感じます。おりしも「入山辺文化誌」がこれまた関係する皆様のご努力により上下二巻が届けられました。その中に何回も「ふるさとの森・美ヶ原」の記事があり、又財産区の記事も多数あり、すばらしい入山辺の歴史本として後世に残ると思います。

またこれからの財産区は、目的と選択を持った管理運営に心がけ、地区の山林に新たな芽が出るように皆様のご意見を伺いながら、議員全員を結集して働いてまいりますのでご指導をお願いします。

いつ起きてもおかしくない地震災害に備えて

11月29日(土) 入山辺地区防犯・防災協議会(増澤範一会長)の主催で自主防災訓練が行われました。

前週の22日に発生した長野県北部(神城断層)地震では、マグニチュード6.7を観測し、白馬村を中心に大きな被害が発生したことから、訓練に参加した方も、例年になく真剣な取り組みとなりました。

訓練は、朝8時40分に地震が発生、6月に運用が開始された、「同報系デジタル防災行政無線」を通じて、避難と安否確認の放送がされました。各町会では、定められた方法で住民の安否確認を行い、入山辺公民館に設置された災害本部に通報しました。災害本部では刻々と報告される安否確認結果を集計し、被害状況の把握が行われました。

9時30分に避難所が開設され、各町会の一時集合場所から避難してきた住民の受け入れをおこないました。今回は、非常用給水車による給水体験も行



教育委員と語る会

11月20日、入山辺地区住民と教育委員による懇談会が開催されました。「松本版信州型コミュニケーションスクールについて」および「中学生期のスポーツ活動指針について」を懇談テーマに設定し、担当課からの概要説明や質疑応答が行われました。

フリートークでは、美ヶ原少年自然の家や三城分校の有効活用、音楽記念館の設置、歴史文化資産の活用、地域と高校生との関わり方などが提起されました。高校生との関わり方について吉江厚教育長からは、「地域と高校生が接触するためには、ただ待っているだけでは進んでいくだけでは前進しない。地域から積極的なきっかけ作りをお願いしたい」というお話がありました。

教育委員と語る会は、地域の教育課題について気軽に意見交換をするため不定期に開催されており、今年度は入山辺地区が選定され開催に至りました。忌憚のない意見交換が活発に行われ、大変有意義な時間となりました。

